| 日・・  | 科目は、こて<br>を体得して<br>つことがで<br>きる。 |
|--|---------------------------------|
| 4. 授業形態 演習 5. 開講学期 春期  | 科目は、こて<br>を体得して<br>つことがで<br>きる。 |
| <ul> <li>6. 履修条件・他科目との関係</li> <li>大学は専門的職業への学習・準備期間である。この4年間をうまくデザインして、自分の夢をとは、学生に課せられた課題である。それを援助するのが、この講座の目的である。そこでおの4年間の生活の仕方から始まり、授業の受け方や行事の意義並びに学ぶ仲間との交流の仕方いく。最終的には、卒業時の就職や進学に関する内容を学び、日々の勉学への意欲を高めていいます。</li> <li>1. 大学で共に学びあう仲間をつくる。</li> <li>2. 時間の流れから将来計画をどのように考えていくべきかを理解し、将来の目標を明確に持っるようになる。</li> <li>3. より実際的な将来を切り開くため、自分の特性や家庭事情も含めて考えることができる。</li> <li>4. 就職や進学のためにこの4年間にどのような準備が必要が理解でき、行動に移すことができる。</li> <li>5. キャリアを人生のプロセスの中で考えられ、修正できる素物性を身に力ける。</li> <li>1. 大学生としての学びは高校時代とは何が違うのか。 - 本学の授業に期待すること - 2. これまでに読んできた本で友人に紹介したい本を選び、紹介文を用意する。</li> <li>3. 自分が将来焼きたい職業を考える。 - その職業に焼いた時、どんな人物像でありたいかー4、この半年間での対の進歩を要項』『学生生活の手引き』 「履修要項』『学生生活の手引き』 「成績評価の規準・大学生活に慣れ、大学での学びで必要となる自律的な学習態度・方法を身につけたか。・大学4年間の学習計画を立て、卒業後の展望について考えることができたか。 ○評定の方法 1. 平常点(授業態度・発表・発言など) 50%</li> <li>2. 課題レボート 50% 他の大学と異なり、本学の学生生活はかなり厳しいものがある。例えば、授業への出席やレス表が義務づけられ、かつディスカッションがふんだんに課せられるからである。そこで、入学が速、高校時代とは異なる大きな段差があることになる。そこで、それにつまずかないよう、か据えた生活設計ができるよう本科目は設けられているので、必ず出席し、課題に取り組んでいた 13. オフィスアワー 各アカデミック・アドバイザーの指示に従うこと。</li> <li>14. 授業展開及び授業内容 学習課題 学習課題</li> <li>オリエンデーション(教員の自 事前学習 奉期オリエンデーションで分からなかったところを整理して</li> </ul>   | 科目は、こて<br>を体得して<br>つことがで<br>きる。 |
| <ul> <li>他科目との関係</li> <li>大学は専門的職業への学習・準備期間である。この4年間をうまくデザインして、自分の夢をとは、学生に課せられた課題である。それを援助するのが、この講座の目的である。そこでおの4年間の生活の仕方から始まり、授業の受け方や行事の意義並びに学ぶ仲間との交流の仕方いく。最終的には、卒業時の脱職や進学に関する内容を学び、日々の勉学への意欲を高めている。2. 時間の流れから将来計画をどのように考えていくべきかを理解し、将来の目標を明確に持っきるようになる。3. より実際的な将来を切り開くため、自分の特性や家庭事情も含めて考えることができる。4. 就職や進学のためにこの4年間にどのような準備が必要か理解でき、行動に移すことができる。4. 就職や進学のためにこの4年間にどのような準備が必要か理解でき、行動に移すことができる。5. キャリアを人生のプロセスの中で考えるか、6 一を学者と関すすること ついてきる事情を見ないます。 2. これまでに読んできた本で友人に紹介したい本を選び、紹介文を用意する。3. 自分が将来就きたい職業を考える。一その職業に就いた時、どんな人物像でありたいかー4. この半年間での私の進歩</li> <li>10. 教科書・参考書・数材</li> <li>「教科書] 「履修要項」『学生生活の手引き』 ○ 「成績評価の規準・大学生活に慣れ、大学での学びで必要となる自律的な学習態度・方法を身につけたか。・大学4年間の学習計画を立て、卒業後の展望について考えることができたか。 ○ 評定の方法 1. 平常点(授業態度・発表・発言など) 50% 2. 課題レボート 50% 他の大学と異なり、本学の学生生活はかなり厳しいものがある。例えば、授業への出席やレスタッセジ 表が義務づけられ、かつディスカッションがふんだんに課せられるからである。そこで、入学は表に表しませられるからである。そこで、入学は表に表しませられるからである。そこで、入学は表と生活設計ができるよう本科目は設けられているので、必ず出席し、課題に取り組んでいた 4. 授業展開及び授業内容 学習課題 **  「教料内容 学習課題 **  「教料内容 学習課題 **  「教育内容 学問かることところを整理していたころを整理して、 **  「教育内容 学問のできないないないないないないないないないないないないないないないないないないない</li></ul> | 科目は、こて<br>を体得して<br>つことがで<br>きる。 |
| 7. 講義概要         とは、学生に課せられた課題である。それを援助するのが、この講座の目的である。そこで本稿の4年間の生活の仕方から始まり、授業の受け方や行事の意義並びに学ぶ仲間との交流の仕方いく。 最終的には、卒業時の就職や進学に関する内容を学び、日々の勉学への意欲を高めていまります。           8. 学習目標         1. 大学で共に学びあう仲間をつくる。           8. 学習目標         2. 時間の流れから将来計画をどのように考えていくべきかを理解し、将来の目標を明確に持きるようになる。           3. より実際的な将来を切り開くため、自分の特性や家庭事情も含めて考えることができる。4. 就職や進学のためにこの4年間にどのような準備が必要か理解でき、行動に移すことができる。4. 就職や進学のためにこの4年間にどのような準備が必要か理解でき、行動に移すことができる。4. 就職や進学のためにこの中で考えられ、修正できる柔軟性を身につける。           9. アサイメント(宿題)及びレポート課題         1. 大学生としての学びは高校時代とは何が違うのか。一本学の授業に期待することっつ半年間での私の進歩           10. 教科書・参考書・教材         2. これまでに読んできた本で友人に紹介したい本を選び、紹介文を用意する。3. 自分が将来就きたい職業を考える。一その職業に就いた時、どんな人物像でありたいかー4. この半年間での私の進歩・大学生活に慣れ、大学での学びで必要となる自律的な学習態度・方法を身につけたか。・大学4年間の学習計画を立て、卒業後の展望について考えることができたか。○評定の方法・「・大学4年間の学習計画を立て、卒業後の展望について考えることができたか。○評定の方法・「・大学4年間の学習計画を立て、卒業後の展望について考えることができたか。○評定の方法・「・大学4年間の学習計画を立て、卒業後の展望について考えることができたか。○評定の方法・「・大学4年間の学習計画を立て、卒業をの展望について考えることができたか。○評定の方法・「・大学4年間の学習計画を立て、卒業をの展望について考えることができたか。○評定の方法・「・大学4年間の学習計画を立て、卒業をの展望について考えることができたか。 「・大学4年間の学習計画を立て、卒業の表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表   | 科目は、こて<br>を体得して<br>つことがで<br>きる。 |
| 8. 学習目標  | きる。                             |
| 9. アサイメント<br>(宿題) 及びレポート課題       2. これまでに読んできた本で友人に紹介したい本を選び、紹介文を用意する。<br>3. 自分が将来就きたい職業を考える。一その職業に就いた時、どんな人物像でありたいかー<br>4. この半年間での私の進歩         10. 教科書・参考書・教材       【教科書】<br>『履修要項』『学生生活の手引き』         11. 成績評価の規準・大学生活に慣れ、大学での学びで必要となる自律的な学習態度・方法を身につけたか。・大学4年間の学習計画を立て、卒業後の展望について考えることができたか。<br>○評定の方法<br>1. 平常点(授業態度・発表・発言など) 50%<br>2. 課題レポート 50%<br>他の大学と異なり、本学の学生生活はかなり厳しいものがある。例えば、授業への出席やレジーを表が義務づけられ、かつディスカッションがふんだんに課せられるからである。そこで、入学行ーを表が義務づけられ、かつディスカッションがふんだんに課せられるからである。そこで、入学行ーを表が義務づけられ、かつディスカッションがあることになる。そこで、それにつまずかないよう、からなったと出表と生活設計ができるよう本科目は設けられているので、必ず出席し、課題に取り組んでいたまえた生活設計ができるよう本科目は設けられているので、必ず出席し、課題に取り組んでいたまままままままままままままままままままままままままままままままままままま  |                                 |
| 10. 教科書・参考書・<br>教材   |                                 |
| □ ○ 成績評価の規準 ・大学生活に慣れ、大学での学びで必要となる自律的な学習態度・方法を身につけたか。 ・大学4年間の学習計画を立て、卒業後の展望について考えることができたか。 ○ 評定の方法 1. 平常点(授業態度・発表・発言など) 50% 2. 課題レポート 50% 他の大学と異なり、本学の学生生活はかなり厳しいものがある。例えば、授業への出席やレジ表が義務づけられ、かつディスカッションがふんだんに課せられるからである。そこで、入学速、高校時代とは異なる大きな段差があることになる。そこで、それにつまずかないよう、か据えた生活設計ができるよう本科目は設けられているので、必ず出席し、課題に取り組んでいた 13. オフィスアワー 各アカデミック・アドバイザーの指示に従うこと。 14. 授業展開及び授業内容 学習課題 オリエンテーション(教員の自 事前学習 春期オリエンテーションで分からなかったところを整理して   |                                 |
| 12. 受講生への<br>メッセージ       表が義務づけられ、かつディスカッションがふんだんに課せられるからである。そこで、入学行<br>速、高校時代とは異なる大きな段差があることになる。そこで、それにつまずかないよう、から<br>据えた生活設計ができるよう本科目は設けられているので、必ず出席し、課題に取り組んでいた         13. オフィスアワー       各アカデミック・アドバイザーの指示に従うこと。         14. 授業展開及び授業内容       学習課題         オリエンテーション(教員の自       事前学習       春期オリエンテーションで分からなかったところを整理して   |                                 |
| 14. 授業展開及び授業内容       講義日程     授業内容     学習課題       オリエンテーション(教員の自     事前学習     春期オリエンテーションで分からなかったところを整理して  | 後には、早<br>つ将来を見                  |
| 講義日程         授業内容         学習課題           オリエンテーション(教員の自         事前学習         春期オリエンテーションで分からなかったところを整理して   |                                 |
|  | - 1 - 1                         |
| 第1回 己紹介/大学における履修方法 事後学習 履修方法や成績評価について分からなかったことを質問する  |                                 |
| および成績評価について学ぶ) 事後子自 機能の伝や成績計画についてのからなからたことを負向する 仲間作り 事前学習 これまでの友人関係や部活での活動等について思い出し、基  | -                               |
| の活動等について語り合う) 事後学習 同級生の話を聞き、自分との共通点や相違点についてまとめ   | うる。<br>こついて事                    |
| 第3回 海外にも視野を広げてみよう 事前学習 前に考えておく。 事後学習 海外留学で学べることについてまとめる。   |                                 |
| 第4回 これまでに読んできた本につい 事前学習 これまでに読んできた本で、授業で紹介したいものを用意す  | 「る。                             |
| 「相介する   事後子首   技業で紹介された本を参考に、読みたい本を探す。   自分が国りの友人や家族にどのようなコミューケーション2   | むし ている                          |
| 第5回 コミュニケーション・スキル学 事前学習 のかについて振り返り、整理しておく。<br>事後学習 授業で学んだことをまとめ、今後のコミュニケーションに活   |                                 |
| 第6回 将来計画と今やるべきこと・し 事前学習  |                                 |
| 事後字省 授業で学んだことを活用し、今やるべさことを計画通り美行   | していく。                           |
| 第7回 職業について考える 事前学習 自分が将来就きたい職業について考えを整理しておく。<br>事の必要 自分が将来就きたい職業に就くにはどうしたらよいかについ   | ハて自ら調                           |
| 事後子首 べる。<br>自分が所属している学部学科ではどのような専門性を身に作る学部学科ではどのような専門性を身に作る学部学科ではどのような専門性を身に作る。<br>事前学習 ができるのかについてシラバスや大学のホームページを見て  | 付けること                           |
| 第8回  | こついて復                           |
| 第9回 各学部、学科における専門教育 事前学習 各学部、学科における専門教育への導入①での学習内容を行  | 复習してお                           |
| 事後学習 各学部、学科における専門教育への導入②での学習内容を後   |                                 |
| 第10回 本学の試験に備えてすべきこと 事前学習 自分が受講している授業のシラバスを確認し、各授業の成績法を確認しておく。 事後学習 授業で学んだことを活用し、テストやレポートに向けて学習   |                                 |
| #6 年   |                                 |
| 第12回 体を鍛えて明日の自分を考える 事前学習 大学に入り、どのような運動をしてきたかについて思い出し<br>事後学習 普段から体力作りに励む。  |                                 |
| 第13回 各学部、学科における専門教育 事前学習 各学部、学科における専門教育への導入①②での学習内容をおく   | を復習して                           |
| 事後学習 各学部、学科における専門教育への導入③での学習内容を後   |                                 |
| 第14回   |                                 |
| 事前学習 これまでの学習内容について整理しておく。  | え習する。                           |
| 第15回 この半年間で学んできたもの 事後学習 今後の学生生活を有意義に過ごすために教養基礎演習 I の「  |                                 |